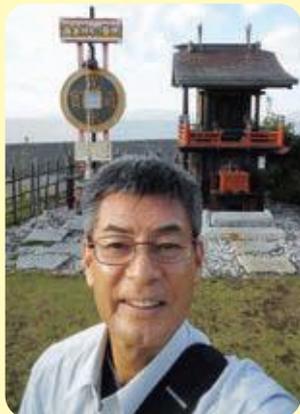


こえ  
聲

# 私のいたいこと



岩崎 秀朗さん  
(祖母井)

## 芳賀町で今も、未来も楽しく

雨上りの翌日、晴天となった日の事です。成長した草木の剪定せんていをしている合間に麦茶を飲み「あっ〜美味しいな」と、マイペース時間を楽しんでいました。そんな中、LRT運行近しと聞き、孫たちと何処どこへ行こうかと話し合いました。

現在、孫たち家族はゆいの杜に住んでいますが、我が家の隣に新築中です。継承されたエリアを子へ渡し、活用してくれるので嬉しく思います。先頃、建築状況を見に来た時に芳賀町は安心・安全・希望に満ちた町だよと次の事を解りやすく話しました。  
①食料の自給自足ができる②教育関係の拡充③車道・歩道の整備促進④美化の促進⑤世界をリードしている会社がたくさんある

これらは、先人から継承されてきた住みやすい環境作りにあるんだよ。このような事を話したら、「ふう〜ん そうなんだ。あっ秀じい、雨が降ってきたよ！」これは大変だ。草木の成長に負けそうだ！



関口 斗央さん  
(芳志戸)

## 次世代へのバトン

私は米・イチゴを作る専業農家です。

豊かな自然に恵まれ、土地改良も進み、他の町と比べても大変農業のしやすい環境だと思えます。そのため、米や梨をはじめ様々な作物が作られています。学校給食や町民祭での地産地消、道の駅での販売会なども行われ、農業が町をPRできる1つのツールともなっているのではないのでしょうか。

ただ、そうした中でも農家の高齢化、担い手や後継者不足による耕作地の荒廃も増えているのも現実です。原材料や肥料の高騰に加え、個人事業主として特に感じていることは、税負担や社会保障費の増加です。今後少子高齢化が進むにつれ、さらに加速するのではないかと危惧しています。

未来ある子どもたちや芳賀町のためにも、限りある財源を有効に活用し、今以上に「実り」のある町にしてほしいと思います。



小筆 公子さん  
(東水沼)

## 健康の大切さ

芳賀町に生まれ嫁ぎ、いつの間にか後期高齢者の仲間入りをしました。3人の子育ての真っ只中に胃がんなどの病を次々と患いました。幸いにも一命を取り留めたのですが、食事管理が難題でした。病院での指導、保健所での講座を受け、知識を得ました。当時は自分のためだけでしたが、後に、地域の活動に参加し、食の大切さを広めています。健康寿命を延ばすには、食だけでなく運動と社会参加することも重要です。芳賀町は生きがいづくり、健康づくりの教室がたくさん開催されています。大いに活用しましょう。

いよいよ長年の夢だったLRTが開業します。元気でいればこそ楽しく出かけることができます。高齢者が免許返納しても、安心して便利に暮らせる公共交通網の整備を早急に進めてほしいと願っています。新体制での町づくりに期待いたします。